

ウィザスの情報は  
ホームページでもご覧になれます。



URL <http://www.with-us.co.jp/>

### ●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他の照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	電子公告により当社のホームページに掲載いたします。 <a href="http://www.with-us.co.jp/">http://www.with-us.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



本 社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル  
TEL 06 (6264) 4200 (代) FAX 06 (6264) 4210  
東京本部 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目2番15号 塚本泰山ビル  
TEL 03 (3538) 2311 (代) FAX 03 (3535) 4123

## With us Report

### 第30期事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日



## “社会で活躍できる人づくり”を実現できる 最高の教育機関をめざします。

子供たちの将来と教育の未来のために企業として何ができるのだろうか…、

そのために、私たちは

「顧客への貢献」「社会への貢献」「社員への貢献」を経営理念とし、貢献を広げ、  
深めるための「自己成長と人間力発揮」に常に努めます。

### 顧客への貢献

満足を超えた業務の遂行と  
人間力発揮を通じた貢献

### Customer

### 経営理念

「行動指針」<sup>\*</sup>  
の実践を通じて実現  
3つの貢献

### Employee

### Society

### 社員への貢献

社員・スタッフの自己成長と  
真のハッピーを通じた貢献

### 社会への貢献

コーポレートビジョンの実現  
と業績向上を通じた貢献

※「行動指針」 今日もさらなる顧客満足度向上のために、何をどのようにベストを超えていますか。  
(基礎・基本の徹底を前提にした傑出・称賛による感動発信等の人間力発揮)

積・信・直・考・感・尽

1.積極性 2.信頼 3.素直な心 4.考え抜く 5.感謝 6.尽力

「ウィザス創立30周年」をステップに、  
さらに企業価値を高めてまいります。



代表取締役社長 堀川一晃

#### 当期の事業環境はいかがでしたか。

2005年度の民間教育市場は、目まぐるしく  
変化する教育制度に対する保護者・生徒の不安  
感に対処すべく各企業間の顧客ニーズに対応し  
た教育サービスの提供という面で競合状況は一  
段と激化し、業界全体としては厳しい状況がつ  
づきました。こうした中で、当社グループは教  
育セグメントごとに「顧客中心の経営」を全社  
一丸となって打ち出し、競合状況に対応した商  
品戦略・地域戦略の強化を推し進めてまいりま  
した。

#### 当期の業績は堅調でしたか。

当連結会計年度における当社グループの連結  
売上高は125億58百万円（前期比7.4%増）、経  
常利益は11億79百万円（前期比41.7%増）、当  
期純利益は3億75百万円（前期比15.3%増）と  
増収増益を達成いたしました。

また、単体業績においても、売上高は117億  
13百万円（前期比1.7%増）、経常利益は11億  
29百万円（前期比32.1%増）、当期純利益は3  
億5百万円（前期比0.1%増）と増収増益体制  
を確保し、民間教育市場における当社の地位を  
なお一層揺るぎないものにすることができまし  
た。



## 「将来設計」「多彩なサービス」を軸に総合 民間教育機関として高い評価を得ています。

### 「入試で燃え尽きない」独自の将来設計指導が注目されていますね。

当社は、独自の教育理念のもとに、「第一ゼミナール」ブランドで近畿圏をドミナントエリアに、小・中・高校生を対象とした進学塾を中心とした幅広い教育サービスを展開しています。そして開塾以来、“目標は志望校合格、目的は社会で活躍できる人づくり”を掲げ、合格実績だけを追い求め「合格さえすればあとは関係なし」という考え方とは一線を画し、生徒の将来を考えた“入試で燃え尽きない指導”を実践してきました。もちろん、志望校合格は塾として第一義の責務ですが、それだけにとどまらず、社会で活躍できる人づくりをめざし、全国の学習塾や学校でも例を見ない将来設計教育を柱としたさまざまな指導を心掛けています。



### 「ウィザス高校」開校1年目の成果はいかがでしたか。

当社は、昨年4月に、全国の不登校や中退者を受け入れる広域通信制高校として、茨城県高萩市の教育特区にウィザス高校を開校し、この春、約1,500人の卒業生を無事に送り出すことができました。当高校は、教育の多様な在り方を求める社会のニーズに応じて、当社が「第一高等学院」ブランドで、20数年間にわたって展開してきた「もうひとつの学校」の集大成として、直接学校経営に乗り出したものです。

「将来設計」や「体験学習」を重視しながら、生徒一人一人の個性や特性を伸ばす独自の教育姿勢は、予想を上回る生徒数を実現し、将来への大きな足掛かりをつかむことができました。将来的には生徒数を8,000～1万人へ増やす計

画をもっており、各生徒のニーズや将来設計にあった専門性を付加するために、プロアスリートが集まるNPO法人との連携によるスポーツ科の年度内設立も視野に、質的強化を図ってまいります。

### 新「創業1年」にあたって経営理念と経営方針を一新されましたが…。

当社は、創業31年にあたる2006年度を新「創業1年」と位置付け、今後の中長期的経営転換を図るため、現状の理念や方針、システムを見直し、顧客中心・顧客満足度向上の視点で再構築を図ります。この30年、理想の民間教育機関をめざして成長拡大を続けてきましたが、現状はまだ不十分であり、力不足を痛感しています。最大の要因は「自己変革・自己

成長を基軸とした理念や方針の実践化の不徹底」にあると考えます。今後当社が教育業界のエクセレントカンパニーに生まれ変わるためには、徹底した理念の共有化と実践こそが実現の鍵だと考え、今回の抜本的な改革に踏み切りました。



学習塾事業

豊富なコースメニューや地域密着化により  
顧客ニーズ多様化に対応。利益改善が向上しました。

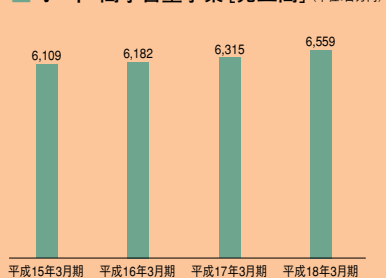
小・中・高校生対象の学習塾事業におきましては、当連結会計年度における主要取組みとしまして以下の内容を掲げ、取組んでまいりました。

- a. 高校生部門も一体とする管理体制（同一エリア内における小・中・高の一貫管理体制）の導入による高校生の在籍数拡大
- b. 地域を限定した季節講習会や通常授業の体験受講キャンペーンによる生徒確保
- c. 合宿勉強会の実施形態の変更による採算性の向上

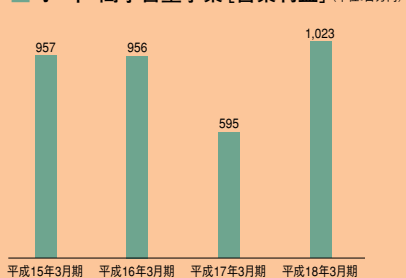
以上の取組みの結果、学習塾事業部門の期中平均生徒数は前年比較で829名（5.8%増）増加いたしました。体験受講キャンペーンの取組みは新規生徒人数の確保では効果がありましたが、売上高の対前年増加率は3.9%増に留まりました。但し、この生徒数増加は次年度の売上確保にはプラス要因に働き、また、クラス充足率のアップに繋がったことから、人件費効率の向上にも寄与しております。また合宿勉強会を地域ごとの拠点教場での勉強会形態へと実施形態を変更し、移動や宿泊形態に伴うリスクの回避は勿論のこと、実施コストの大幅な削減で利益面でも大きく寄与することができました。高校生在籍数は中・高一貫の連携により対前年比較で12.6%増加しております。



■ 小・中・高学習塾事業【売上高】(単位:百万円)



■ 小・中・高学習塾事業【営業利益】(単位:百万円)



※営業利益につきましては、本社販管費用配賦前の利益を表示しております。

高認  
サポート校  
通信制高校  
事業

自社運営によるウィザス高校開校が寄与し、  
生徒数が大幅に増加しました。

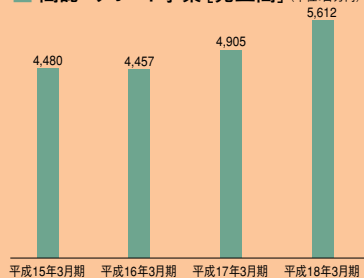
高認・サポート校・通信制高校部門におきましては、当連結会計年度における主要取組みとしまして以下の内容を掲げ、取組んでまいりました。

- a. 通信制高校（ウィザス高校）の開校対応とサポート事業との連携
- b. 大検制度から高卒認定試験制度への制度変更に対するスムーズな対応
- c. ホームページの充実とインターネット広告の活用による生徒募集の強化と費用削減

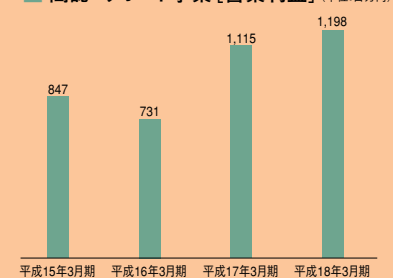
まずグループ内に通信制高等学校を設立したことによって、サポート校事業の更なる強化として、通信制高校事業の業績確保においては当初計画を上回る成果をあげることが出来ました。また大検制度の変更に伴う対応につきましては、平成16年度の大検コースの入学人数は2,224名、平成17年度の高認コース入学人数は2,528名と率にして13.7%増加しており、制度変更への対応は順調に推移しましたが、今後さらに新制度の認知度を高める活動により高卒認定試験の裾野の拡大に取組んでまいります。広報面の取組みにつきましては、以前の新聞広告による生徒募集方法からインターネット広告による募集方法にシフトさせ、ホームページの充実に取組んでまいりました。その結果、通信制高校部門を除く高認・サポート校事業部門の広告宣伝費の総額は対前年比較で率にして約24%削減することができました。



■ 高認・サポート事業【売上高】(単位:百万円)

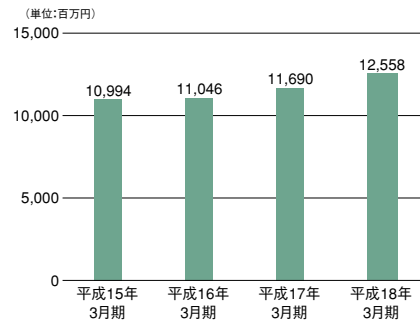


■ 高認・サポート事業【営業利益】(単位:百万円)

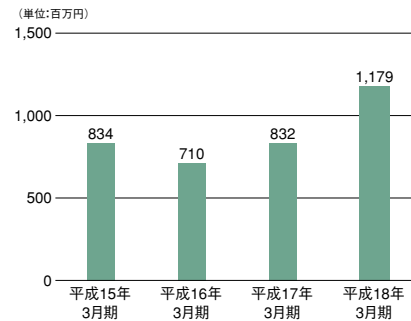


※営業利益につきましては、本社販管費用配賦前の利益を表示しております。

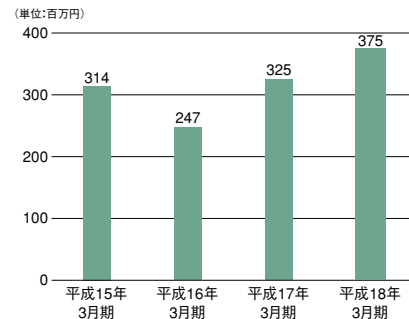
## 売上高



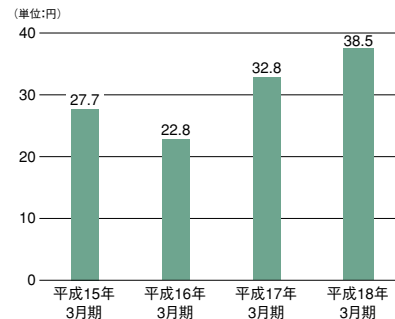
## 経常利益



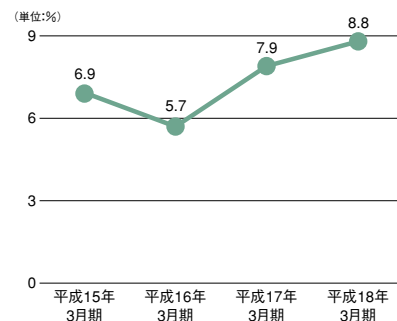
## 当期純利益



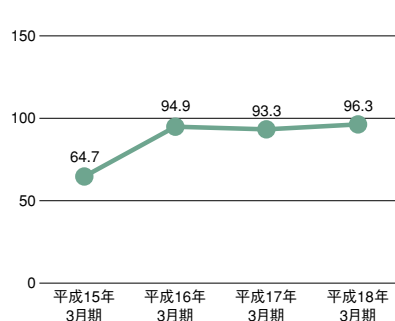
## EPS (1株当たり当期純利益)



## ROE (株主資本当期純利益率)



## インタレスト・カバレッジ・レシオ



## 他社との差別化、外部評価が高い教育機関を目指して

学習塾事業におきましては、前期に引続き大阪府の公立高校学区再編に対応した難関高校の合格実績確保に向けた取組み、小学校英語必修化を先取りした小学校英語コースの充実、キャリア教育・将来設計指導教育の導入により、他社との差別化を図ってまいります。

つぎに高認・サポート校・通信制高校部門におきましては、高認・サポート校部門と通信制高校部門との効率的な連携の徹底を図り、中学・高校の学校訪問を通じて、学校との太いパイプを構築し外部からも高い評判を得られる教育機関を目指してまいります。更に一体的な運営の一環としてウィザス高校の総合学科開講に伴う新コースの設置により教育内容の拡充を図り、ウィザスグループ全体の入学者数の増加施策を講じてまいります。

## 新たな企業理念・企業文化の構築に向けて

学校教育の動向を注視しつつ、同業他社間のサービス品質の競合が一段と激しさを増しており、地域の生徒・保護者のニーズを先取りし、それをスピーディーに運営に取り入れることの出来る経営体制が求められています。

このような状況のなか、当社は創業31年目を迎えることになり、新たな新創業1年目という意識で、これまでの蓄積してきたノウハウ等は継承しつつも、より高いレベルでの教育サービス提供を実現するための新たな企業理念の浸透・企業文化の構築にむけての活動を展開しております。その一環として、ユニット単位経営システム導入の準備にも着手しております。さらに、中期的な布石として、中学生・高校生対象のキャリア教育プログラムの開発に取組み、公教育でのプログラム展開も視野に入れて、準備を進めてきております。



## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目		当連結会計年度 平成18年3月31日現在	前連結会計年度 平成17年3月31日現在
資産の部	流動資産	3,102,630	2,610,421
	固定資産	7,210,803	6,846,989
	有形固定資産	2,724,983	2,962,719
	無形固定資産	408,729	451,583
	投資その他の資産	4,077,090	3,432,687
	繰延資産	122,048	158,777
	資産の部合計	10,435,482	9,616,188
負債の部	流動負債	5,015,901	4,313,970
	固定負債	1,003,558	1,186,477
	負債の部合計	6,019,460	5,500,448
資本の部	資本金	1,299,375	1,299,375
	資本剰余金	1,589,377	1,517,236
	利益剰余金	3,128,813	3,022,415
	土地再評価差額金	△ 1,297,766	△ 1,263,454
	株式等評価差額金	41,178	△ 648
	自己株式	△ 344,955	△ 459,183
	資本の部合計	4,416,022	4,115,740
負債・資本の部合計	10,435,482	9,616,188	

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目		当連結会計年度 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
経常損益の部	売上高	12,558,048	11,690,383
	売上原価	9,325,715	9,002,981
	売上総利益	3,232,333	2,687,401
	販売費及び一般管理費	2,043,741	1,886,243
	営業利益	1,188,591	801,158
	営業外収益	77,173	93,820
	営業外費用	85,960	62,447
経常利益	1,179,805	832,531	
特別損益の部	特別利益	38,984	15,039
	特別損失	399,668	175,605
	税金等調整前当期純利益	819,121	671,964
	法人税、住民税及び事業税	524,961	254,143
	法人税等調整額	△ 80,952	92,592
当期純利益	375,112	325,228	

個別貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目		当期 平成18年3月31日現在	前期 平成17年3月31日現在
資産の部	流動資産	2,430,107	2,070,677
	固定資産	6,979,708	6,613,478
	有形固定資産	2,409,224	2,608,248
	無形固定資産	395,395	448,856
	投資その他の資産	4,175,087	3,556,374
	繰延資産	—	2,400
資産の部合計		9,409,815	8,686,556
負債の部	流動負債	4,125,963	3,635,067
	固定負債	972,800	970,923
	負債の部合計	5,098,763	4,605,991
資本の部	資本金	1,299,375	1,299,375
	資本剰余金	1,589,377	1,517,236
	資本準備金	1,517,213	1,517,213
	その他資本剰余金	72,163	22
	自己株式処分差益	72,163	22
	利益剰余金	3,023,843	2,987,428
	利益準備金	158,450	158,450
	任意積立金	1,450,000	1,450,000
	別途積立金	1,450,000	1,450,000
	当期末処分利益	1,415,393	1,378,978
	土地再評価差額金	△ 1,297,766	△ 1,263,454
	株式等評価差額金	41,178	△ 836
	自己株式	△ 344,955	△ 459,183
	資本の部合計	4,311,052	4,080,565
	負債・資本の部合計	9,409,815	8,686,556

個別損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目		当期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	前期 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
経常損益の部	売上高	11,713,864	11,520,114
	売上原価	8,770,756	8,870,376
	販売費及び一般管理費	1,856,246	1,868,376
	営業利益	1,086,861	781,361
	営業外収益	64,725	96,497
	営業外費用	21,919	22,650
	経常利益	1,129,667	855,208
	特別損益の部	特別利益	39,063
特別損失		452,598	263,027
税引前当期純利益		716,132	607,754
法人税、住民税及び事業税		490,398	239,976
法人税等調整額		△ 79,394	62,929
当期純利益		305,128	304,848
前期繰越利益		1,290,149	1,269,292
中間配当額		50,921	52,749
土地再評価差額金取崩額		128,964	142,413
当期末処分利益		1,415,393	1,378,978

利益処分

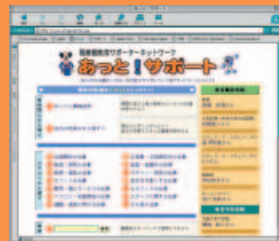
(単位:円)

摘要	当期	前期
当期末処分利益	1,415,393,019	1,378,978,276
これを下記のとおり処分しました。		
利益配当金	105,123,557	74,098,808
(1株につき11円) (内記念配当金3円)		(1株につき8円)
取締役賞与金	14,800,000	14,730,000
次期繰越利益	1,295,469,462	1,290,149,468

●トピックス

中学生に好評！キャリア教育サイト「あっと！サポート」

学校や職業一覧、志望校のほか、興味ある職業の体験談を数多く掲載した中学生対象の人気サイトです。第一ゼミナールの生徒が両親や知人に取材した親しみやすい視点からの体験談が評判で、中高生のほか、早い時期から子供に人生設計を考えさせたい保護者や教師の間でも閲覧が急増し、1日のアクセス数が1万件を超えることもしばしば。希望する職業が明確でない場合でも質問に答えていくと自分に適した職業がわかるコーナーなど、楽しみながら気軽に職業観を身につけられる点も特徴です。将来はサイト内に閲覧者の悩みをカウンセリングできる有料ページも設ける予定です。



Jリーグ「セレッソ大阪」と業務提携  
ウィザース高校がクラブ強化を教育面からサポート

ウィザース高校及び第一高等学院では、全日制高校に通学できない若い選手を教育面からサポート。スポーツや芸能・芸術関係など、夢の実現に向けて頑張る生徒達を学習指導と将来設計指導の両面で支援しています。



1,000株から100株に、  
1単元の株式数を変更

当社は、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるため、1単元の株式数を見直し、1単元の株式数を1,000株から100株に変更し、株式投資単位の引き下げを実施しました。

(平成18年3月31日現在)

■ 会社の概況

商号 株式会社 ウィザス  
 代表者 代表取締役社長 堀川 一晃  
 設立 昭和51年7月10日  
 資本金 12億9,937万5,000円  
 従業員数 550名(男449名・女101名)  
 事業内容 当社グループは総合教育サービス企業として、次の教育サービスを主たる事業として営んでおります。

- ① 幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導ならびに能力開発指導を行う「学習塾事業」
- ② 国の検定である高等学校卒業程度認定試験の受験指導・進路指導の「予備校事業」
- ③ 連結子法人等の株式会社ハーモニックによる広域通信制単位制高等学校（学校名、ウィザス高等学校）の運営

本社所在地 大阪市中央区備後町三丁目6番2号 KFセンタービル

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行  
 株式会社三菱東京UFJ銀行  
 住友信託銀行株式会社  
 株式会社三井住友銀行  
 株式会社横浜銀行

■ 役員

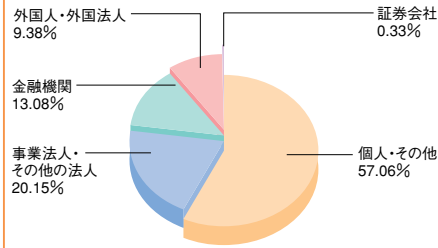
代表取締役社長 堀川 一 晃  
 常務取締役 井尻 芳 晃  
 常務取締役 生駒 富 男  
 取締役 小林 博 明  
 常勤監査役 田中 正 雄  
 監査役 裕井 久 子  
 監査役 住田 裕 子

会社が発行する株式の総数 44,760,000株  
 発行済株式の総数 10,440,000株  
 株主数 1,295名  
 大株主

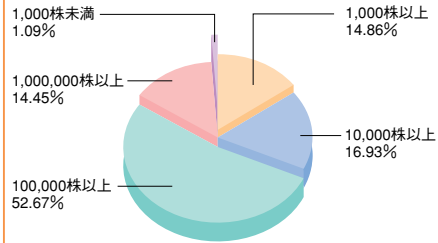
株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
堀川 一 晃	1,509 千株	15.79 %
堀川 直 人	466	4.88
堀川 明 人	466	4.88
ウィザス職員持株会	395	4.14
バンク・オブ・ニューヨーク・ロンドン インベストメント・アドバイザー	370	3.87
スパークス OMSF-1 投資事業組合	300	3.14
竹田 和 平	290	3.03
株式会社みずほ銀行	267	2.79
イオンファイナンスカンパニー プライベートエクイティ	227	2.38
日本生命保険相互会社	217	2.27

(注1) 上記のほか、自己株式が883千株あります。  
 (注2) 株式会社みずほ銀行の完全親会社である株式会社みずほフィナンシャルグループの普通株式28株（出資比率0.00%）を保有しております。

■ 所有者別分布（持株比率）



■ 所有株数別分布（持株比率）



(平成18年3月31日現在)

■ 学習塾事業

- ファロス茨木校
- 寝屋川校
- 大東校
- 枚方校
- 寝屋川中央校
- 四条畷校
- 交野校
- ゼミプラザ校
- 泉佐野校
- 貝塚校
- 泉南校
- 阿倍野校
- 熊取校
- 春木校
- 粉浜校
- 松原校
- 金剛校
- 河内長野校
- 富田林校
- 藤井寺校
- 東住吉校
- 堺校
- 堺中央校
- 南海校
- 鳳校
- 泉本部分校
- 和泉府中校
- 堺東本部分校
- 羽衣校
- 光明池校
- 小阪校
- 弁天町校
- 深井校
- ファロス天王寺校
- ファロス上六本部分校
- 高安校
- 金剛東校
- 大正校
- 守口校
- 久米田校
- 北野田校
- 城東校
- 梅・美木多校
- 和泉砂川校
- 長尾校
- 松原中央校
- 瓢箪山校
- 和泉中央校
- 尾崎校
- 宿院校
- 桃山台校
- ファロス豊中校
- 堺北校
- 岸和田中央校
- 泉大津校
- ファロス南海校
- ファロスプラザ校
- ファロス金剛校
- 古市校
- 放出校
- ファロス堺東校
- ファロス豊中北校
- 北花田校
- 和泉橋本校
- 旭ヶ丘校
- 鶴見校
- 城東緑校
- 千代田校
- ファロス守口校
- ファロス鳳校
- ファロス富田林校
- 喜志校
- ファロス阿倍野校
- ファロス尾崎校
- 千林大宮校
- 新石切校
- 山本校
- 西田辺校
- まなび野校
- 柏原校
- 志紀校
- 緑橋校
- 大和田校
- バシード天王寺校
- バシード岸和田校
- バシード河内長野校
- バシード泉北校
- ユリカカ天王寺校
- ユリカカ堺東高
- ユリカカ寝屋川校
- ユリカカ岸和田校
- ユリカカ松原中央校
- ユリカカプラザ校
- Sur大阪校
- 合格指導会・大手前校
- 合格指導会・天王寺校
- 合格指導会・三国ヶ丘校
- 奈良中央校
- 学園前校
- 王寺校
- 天理校
- ファロス学園前校
- 和歌山本部分校
- 和歌山北部分校
- 和歌山中央校
- ユリカカ和歌山校
- 京都本部分校

- 宇治小倉校
- 京田辺校
- ファロス桂校
- 武庫之荘校
- ファロス伊丹校
- ファロス夙川校
- ファロス甲子園口校
- ファロス六甲校
- 三田校
- ファロス住吉校
- ファロス御影校
- ファロス宝塚校
- 岐阜本部分校
- 岐阜南校
- 岐阜北校
- 那加校
- 岡山本部分校
- 高松本部分校
- 広島本部分校

■ 高認・サポート校事業

- お茶の水校
- 町田校
- 立川校
- 東京キャンパス
- 柏校
- 千葉校
- 千葉キャンパス
- 横浜校
- 横浜キャンパス
- 大宮校
- 埼玉キャンパス
- 宇都宮校
- 高崎校
- 水戸校
- 札幌校
- 仙台校

- 仙台キャンパス
- 秋田校
- 新潟校
- 郡山校
- 静岡校
- 長野校
- 富山校
- 金沢校
- 名古屋校
- 豊橋校
- 名古屋キャンパス
- 岐阜校
- 四日市校
- 京都校
- 大阪校
- 天王寺校
- 奈良校
- 神戸校
- 岡山校
- 広島校
- 松山校
- 博多校
- 小倉校
- 熊本校

■ その他の事業

- ブルードルフィンズ緑地公園前校
- ブルードルフィンズ高槻校
- ブルードルフィンズ千里中央校
- ブルードルフィンズ西宮校
- ブルードルフィンズ宝塚校
- ブルードルフィンズ本部分校
- ブルードルフィンズ北さいたま校
- みのり保育園
- ウィザス高等学校

